

# 2015年3月期第3四半期決算の概要

**東レ株式会社**  
2015年2月5日

# 目次

---

## I . 2015年3月期第3四半期決算の概要

2015年3月期第3四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)	(P18)

## II . 2015年3月期連結業績見通し

2015年3月期連結業績見通し	(P20)
セグメント別業績見通し	(P21)
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異	(P22)

# I . 2015年3月期第3四半期決算の概要

# 2015年3月期第3四半期連結損益概要

	14年3月期 第3四半期 (10~12月)	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減		14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減		億円
売上高	4,971	5,390	+419	(+8.4%)	13,508	14,870	+1,362	(+10.1%)	
売上原価	4,049	4,354	+305	(+7.5%)	10,936	11,977	+1,042	(+9.5%)	
売上総利益	921	1,036	+114	(+12.4%)	2,573	2,892	+320	(+12.4%)	
(売上高総利益率)	18.5%	19.2%	+0.7	ポイント	19.0%	19.5%	+0.4	ポイント	
販売費及び一般管理費	616	684	+69	(+11.1%)	1,824	2,028	+204	(+11.2%)	
(売上高販管費比率)	12.4%	12.7%	+0.3	ポイント	13.5%	13.6%	+0.1	ポイント	
営業利益	306	352	+46	(+15.0%)	749	865	+116	(+15.5%)	
(売上高営業利益率)	6.1%	6.5%	+0.4	ポイント	5.5%	5.8%	+0.3	ポイント	
営業外収支	17	4	-13		39	56	+17		
経常利益	322	356	+33	(+10.3%)	788	921	+133	(+16.9%)	
特別損益	▲14	▲10	+4		▲41	▲31	+10		
税前利益	309	346	+37	(+12.0%)	747	890	+143	(+19.2%)	
四半期純利益	201	213	+12	(+6.0%)	494	625	+131	(+26.5%)	

		(14/3 3Q)	→	(15/3 3Q)	(14/3 3Q累計)	→	(15/3 3Q累計)
為替レート <円/US\$>	期中平均	100.5	→	114.5	99.4	→	106.9
	期末	105.4	→	120.6			
<円/ユーロ>	期中平均	136.7	→	143.1	132.2	→	140.3
	期末	145.1	→	146.5			

(注)3月期決算会社は10~12月の業績、12月期決算会社は7~9月の業績を連結

# 営業外収支

億円

	14年3月期 第3四半期 (10~12月)	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業外収益	49	50	+1	136	174	+38
受取利息及び配当金	12	13	+1	32	37	+5
持分法による投資利益	22	17	-4	59	101	+41
雑収入	15	20	+5	44	36	-8
営業外費用	▲ 32	▲ 46	-13	▲ 97	▲ 119	-22
支払利息	▲ 12	▲ 13	-1	▲ 38	▲ 42	-4
雑損失	▲ 20	▲ 32	-12	▲ 59	▲ 76	-17
営業外収支	17	4	-13	39	56	+17
金融収支	0	▲ 1	-1	▲ 5	▲ 5	+0

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 特別損益

億円

	14年3月期 第3四半期 (10~12月)	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
特別利益	2	7	+5	74	10	-64
有形固定資産売却益	2	0	-2	4	2	-2
投資有価証券売却益	0	5	+5	2	5	+4
受取保険金	▲ 0	-	+0	68	-	-68
その他	-	2	+2	0	2	+2
特別損失	▲ 16	▲ 17	-1	▲ 115	▲ 41	+75
有形固定資産処分損	▲ 15	▲ 14	+1	▲ 32	▲ 33	-2
減損損失	-	▲ 2	-2	▲ 82	▲ 2	+80
その他	▲ 1	▲ 1	-0	▲ 2	▲ 5	-3
ネット特別損益	▲ 14	▲ 10	+4	▲ 41	▲ 31	+10

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 資産・負債・純資産

億円

	14年3月末	14年12月末	増減
資産合計	21,197	22,667	+1,470
流動資産	9,204	10,049	+845
有形固定資産	7,812	8,173	+361
無形固定資産	1,001	957	-44
投資その他	3,180	3,488	+308

	14年3月末	14年12月末	増減
負債合計	11,751	12,727	+976
流動負債	5,966	6,116	+150
固定負債	5,785	6,611	+826
純資産合計	9,446	9,940	+494
有利子負債残高	6,542	7,341	+799
D/Eレシオ	0.76	0.81	+0.05

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
設備投資額	700	840	+140	東レ: 244、連結子会社: 596
減価償却費 ー)	571	570	-1	東レ: 179、連結子会社: 392
振替・除却等	301	91	-210	
有形固定資産増減	431	361	-70	
研究開発費	416	436	+20	

主な設備投資:

東レ

CFA(Toray Carbon Fibers America, Inc.)

CFE(Toray Carbon Fibers Europe S.A.)

炭素繊維生産設備

TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.): PPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂生産設備



# セグメント別売上高・営業利益

億円

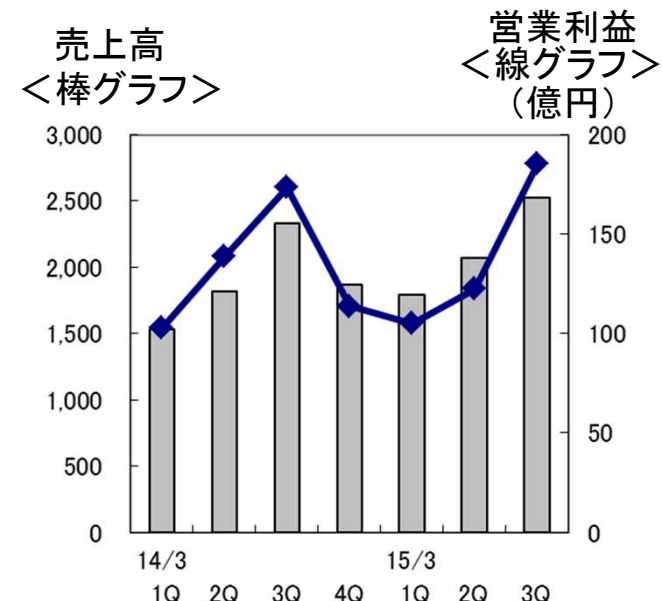
	売上高			営業利益		
	14年3月期 第3四半期 (10~12月)	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	14年3月期 第3四半期 (10~12月)	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減
繊維	2,331	2,528	+197 (+8.4%)	174	185	+12 (+6.8%)
プラスチック・ケミカル	1,181	1,245	+64 (+5.5%)	42	59	+17 (+38.9%)
情報通信材料・機器	626	623	-3 (-0.4%)	65	57	-7 (-10.9%)
炭素繊維複合材料	298	398	+100 (+33.6%)	42	67	+25 (+59.6%)
環境・エンジニアリング	339	417	+78 (+22.9%)	5	15	+11 (+234.8%)
ライフサイエンス	163	146	-17 (-10.5%)	30	14	-16 (-52.5%)
その他	32	32	-0 (-0.5%)	5	3	-1 (-28.8%)
計	4,971	5,390	+419 (+8.4%)	362	402	+40 (+11.0%)
調整額				▲ 56	▲ 50	+6
連結	4,971	5,390	+419 (+8.4%)	306	352	+46 (+15.0%)

	売上高			営業利益		
	14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
繊維	5,682	6,390	+708 (+12.5%)	415	413	-2 (-0.6%)
プラスチック・ケミカル	3,461	3,707	+246 (+7.1%)	133	176	+44 (+32.9%)
情報通信材料・機器	1,845	1,841	-4 (-0.2%)	173	161	-12 (-7.0%)
炭素繊維複合材料	819	1,164	+346 (+42.2%)	113	185	+72 (+63.8%)
環境・エンジニアリング	1,170	1,251	+81 (+6.9%)	11	36	+25 (+227.1%)
ライフサイエンス	429	411	-18 (-4.2%)	49	31	-17 (-35.7%)
その他	101	104	+3 (+2.9%)	12	10	-1 (-9.7%)
計	13,508	14,870	+1,362 (+10.1%)	905	1,013	+108 (+11.9%)
調整額				▲ 156	▲ 148	+9
連結	13,508	14,870	+1,362 (+10.1%)	749	865	+116 (+15.5%)

# セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		14年 3月期	15年 3月期	増減		14年 3月期	15年 3月期	増減	
売上高	東レ	264	249	-15	(-5.8%)	809	774	-35	(-4.3%)
	国内	1,293	1,325	+32	(+2.5%)	2,860	2,963	+103	(+3.6%)
	海外	774	954	+180	(+23.3%)	2,013	2,653	+640	(+31.8%)
	計	2,331	2,528	+197	(+8.4%)	5,682	6,390	+708	(+12.5%)
営業利益	東レ	29	39	+9	(+32.0%)	114	105	-10	(-8.7%)
	国内	41	42	+1	(+1.4%)	93	88	-5	(-4.9%)
	海外	88	87	-1	(-1.5%)	211	229	+18	(+8.6%)
	修正	15	18	+3		▲ 2	▲ 8	-6	
	計	174	185	+12	(+6.8%)	415	413	-2	(-0.6%)



## 3Q (10~12月)

国内の衣料用途は、需要が全般的に低調に推移する中、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進など事業の高度化と拡販に努めた。産業用途は、自動車関連用途をはじめ堅調に推移。海外では、欧州需要の低迷や中国内需の伸び悩みの影響を受けたが、新興国における衛生材料向けの出荷は堅調に推移。なお、前期末に連結子会社化したToray Chemical Korea Inc.は、増収には寄与したが、連結子会社化に伴うのれん償却等の影響があった。

## 3Q累計 (4~12月)

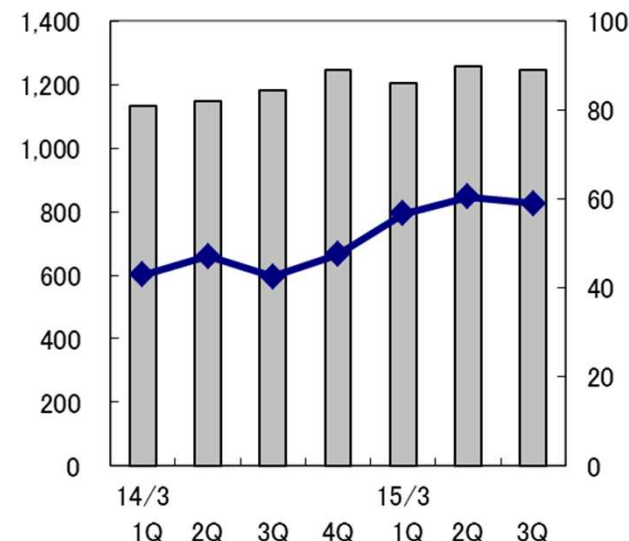
国内では、衣料用途は、一部で回復基調が見られるものの消費税率引き上げの影響の長期化を受けて需要が全般的に弱含みで推移する中、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進などによる事業の高度化と拡販に努めた。産業用途は、自動車関連用途向けをはじめとして堅調に推移。海外では、欧州需要の低迷や中国内需の伸び悩みの影響を受けたが、東南アジアや中国のテキスタイル子会社が拡販と高付加価値品へのシフトを進め、また自動車関連用途向けや新興国における衛生材料向けの出荷が堅調に推移。なお、前期末に連結子会社化したToray Chemical Korea Inc.は、増収には寄与したが、連結子会社化に伴うのれん償却等の影響があった。

# セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

	3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
	14年 3月期	15年 3月期	増減		14年 3月期	15年 3月期	増減	
売上高	東レ	210	184	-26 (-12.5%)	621	618	-3 (-0.5%)	
	国内	461	496	+36 (+7.7%)	1,353	1,393	+40 (+2.9%)	
	海外	510	565	+55 (+10.8%)	1,487	1,697	+210 (+14.1%)	
	計	1,181	1,245	+64 (+5.5%)	3,461	3,707	+246 (+7.1%)	
営業利益	東レ	▲ 7	6	+13 (-)	▲ 11	19	+30 (-)	
	国内	21	25	+3 (+16.6%)	61	70	+9 (+15.3%)	
	海外	29	29	+0 (+0.8%)	82	90	+8 (+9.4%)	
	修正	▲ 1	▲ 1	-0	1	▲ 3	-3	
	計	42	59	+17 (+38.9%)	133	176	+44 (+32.9%)	

売上高  
棒グラフ



営業利益  
線グラフ  
(億円)

3Q  
(10~12月)

樹脂：国内では、消費税率引き上げの影響の長期化を受け出荷は弱含みで推移したが、遅れていた価格転嫁が進展。海外では、中国の子会社が自動車関連用途向けの出荷を拡大。

フィルム：国内の食品包装用途を中心に堅調に推移。

3Q累計  
(4~12月)

樹脂事業は、国内では上期を中心に一部で原燃料価格上昇の影響を受けたものの、全体として出荷は堅調に推移したが、10月以降は消費税率引き上げの影響の長期化を受け出荷は弱含みで推移。海外では中国や米国の子会社で自動車関連用途向けの出荷が拡大。フィルム事業は、工業材料・包装材料の需要が国内外で総じて堅調に推移する中、一部で価格競争の影響を受けたものの、太陽電池バックシート用途向けや食品包装用途向けで出荷が拡大。

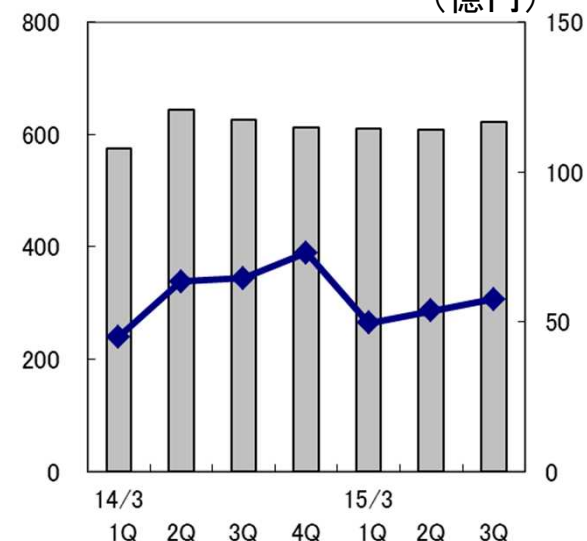
# セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位:億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		14年 3月期	15年 3月期	増減		14年 3月期	15年 3月期	増減	
売上高	東レ	196	172	-24	(-12.3%)	598	525	-73	(-12.2%)
	国内	203	202	-2	(-0.8%)	566	607	+41	(+7.3%)
	海外	226	250	+23	(+10.3%)	681	709	+28	(+4.2%)
	計	626	623	-3	(-0.4%)	1,845	1,841	-4	(-0.2%)
営業利益	東レ	31	15	-16	(-51.2%)	81	52	-29	(-36.3%)
	国内	17	22	+5	(+32.9%)	39	57	+19	(+47.8%)
	海外	25	29	+4	(+17.1%)	77	76	-0	(-0.6%)
	修正	▲ 8	▲ 9	-1		▲ 24	▲ 25	-1	
	計	65	57	-7	(-10.9%)	173	161	-12	(-7.0%)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)



## 3Q (10~12月)

大型液晶パネル関連材料は、パネルメーカーの生産が順調に推移していることや大画面化の進展に伴い、堅調に推移。スマートフォンやタブレット端末向けは電子部品関連材料を中心に堅調に推移したものの、一部で最終顧客の生産調整の影響を受けた。なお、PDP関連材料の出荷は、主要顧客のPDP事業からの撤退の影響により減少。また、全般的に価格競争が継続。

## 3Q累計 (4~12月)

大型液晶パネル向けでは、パネルメーカーの生産回復と大画面化の進展に伴い、フィルム・フィルム加工品等の関連材料の出荷が増加。スマートフォンやタブレット端末の関連材料の出荷は概ね堅調に推移したものの、一部で最終顧客の生産調整の影響を受けた。なお、PDP関連材料の出荷は、主要顧客のPDP事業からの撤退の影響により減少。また、各材料とも引き続き価格競争の影響を受けた。

# 情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

## 【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	14年3月期第3四半期 (10~12月)		15年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	221	35%	213	34%	-4%
電子部品・半導体・回路材料	268	43%	277	44%	+3%
記録材料	78	12%	86	14%	+11%
機器他	59	9%	48	8%	-19%
情報通信材料・機器セグメント合計	626		623		-0%

	14年3月期第3四半期累計 (4~12月)		15年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	663	36%	634	34%	-4%
電子部品・半導体・回路材料	806	44%	809	44%	+0%
記録材料	231	13%	245	13%	+6%
機器他	145	8%	154	8%	+6%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,845		1,841		-0%



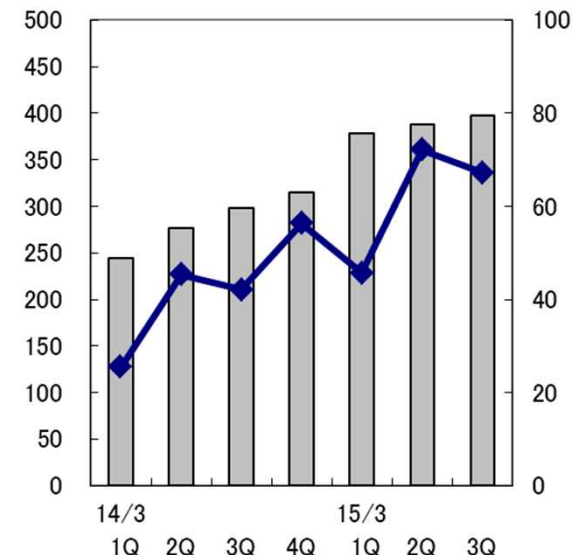
# セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		14年 3月期	15年 3月期	増減		14年 3月期	15年 3月期	増減	
売上高	東レ	201	230	+30	(+14.8%)	632	696	+64	(+10.2%)
	国内	141	172	+31	(+21.9%)	399	468	+69	(+17.4%)
	海外	255	348	+93	(+36.7%)	674	1,018	+344	(+51.1%)
	修正	▲ 299	▲ 353	-54		▲ 885	▲ 1,018	-133	
	計	298	398	+100	(+33.6%)	819	1,164	+346	(+42.2%)
営業利益	東レ	27	36	+9	(+32.2%)	69	116	+48	(+69.2%)
	国内	2	2	+0	(+24.2%)	6	6	-0	(-3.3%)
	海外	18	40	+23	(+126.0%)	49	91	+42	(+85.4%)
	修正	▲ 5	▲ 11	-7		▲ 11	▲ 28	-17	
	計	42	67	+25	(+59.6%)	113	185	+72	(+63.8%)

売上高  
棒グラフ

営業利益  
線グラフ  
(億円)



本セグメントでは、グローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

3Q  
(10~12月)

炭素繊維及び中間加工品(プリプレグ)の販売は、航空宇宙用途や圧縮天然ガスタンク向け等の環境・エネルギー関連用途や欧州をはじめとした自動車関連用途向けに出荷が拡大。成形品事業では、ノートブック型パソコンの筐体が堅調に推移。なお、前期末に連結子会社化したZoltek Companies, Inc.は、増収には寄与したが、連結子会社化に伴うのれん償却等の影響があった。

3Q累計  
(4~12月)

航空機需要の拡大や圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大に加え、欧州をはじめとした自動車関連の需要も好調に推移し、航空宇宙用途や一般産業用途向けに炭素繊維及び中間加工品(プリプレグ)の出荷が拡大。また、スポーツ用途や産業用途で使用される汎用品の値戻しに取り組んだ。なお、前期末に連結子会社化したZoltek Companies, Inc.は、増収には寄与したが、連結子会社化に伴うのれん償却等の影響があった。

# 炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	14年3月期第3四半期 (10~12月)		15年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	149	50%	196	49%	+32%
スポーツ	40	13%	41	10%	+2%
一般産業	109	37%	161	40%	+48%
炭素繊維複合材料計	298		398		+34%

	14年3月期第3四半期累計 (4~12月)		15年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	401	49%	571	49%	+43%
スポーツ	106	13%	119	10%	+12%
一般産業	312	38%	474	41%	+52%
炭素繊維複合材料計	819		1,164		+42%

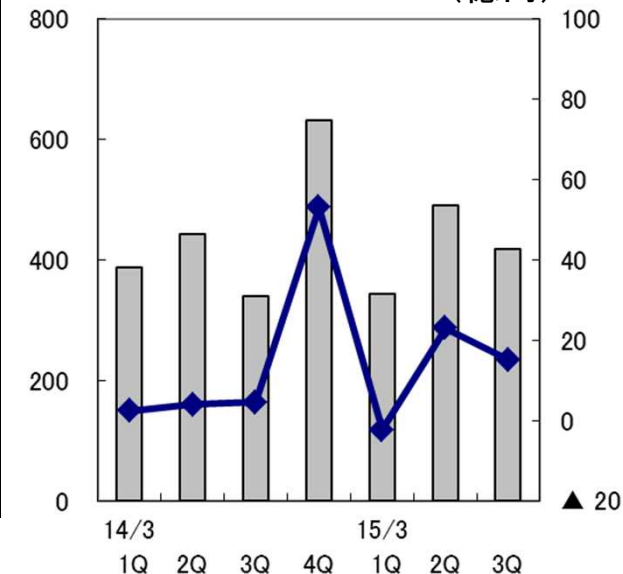
# セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		14年 3月期	15年 3月期	増減		14年 3月期	15年 3月期	増減	
売上高	東レ	32	28	-4	(-11.3%)	79	88	+10	(+12.2%)
	国内	289	338	+49	(+16.9%)	1,042	1,019	-23	(-2.2%)
	海外	18	50	+32	(+181.7%)	49	144	+95	(+193.4%)
	計	339	417	+78	(+22.9%)	1,170	1,251	+81	(+6.9%)
営業利益	東レ	2	1	-1	(-32.5%)	4	3	-0	(-11.2%)
	国内	2	11	+9	(+548.8%)	0	24	+24	(-)
	海外	1	5	+4	(+540.5%)	2	12	+10	(+407.2%)
	修正	1	▲1	-2		5	▲4	-8	
	計	5	15	+11	(+234.8%)	11	36	+25	(+227.1%)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)



**3Q**  
(10~12月)

水処理事業: 逆浸透膜を中心に堅調に推移。また、前期末に連結子会社化したToray Chemical Korea Inc.が業績に貢献。

国内: エンジニアリング子会社や建設子会社の業績が、堅調に推移。

**3Q累計**  
(4~12月)

水処理事業は、グローバルな需要が引き続き弱含みに推移する中、海水淡水化案件などで出荷が増加するとともに、前期末に連結子会社化したToray Chemical Korea Inc.が業績に貢献。国内子会社は商事子会社の一部事業で取引形態変更により売上高が減少したが、エンジニアリング子会社、建設子会社の業績が好調に推移。



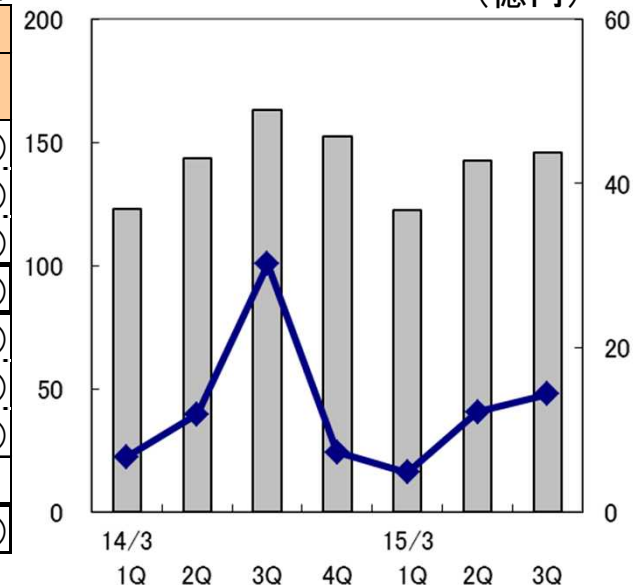
# セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		14年 3月期	15年 3月期	増減		14年 3月期	15年 3月期	増減	
売上高	東レ	59	42	-17	(-28.7%)	128	108	-20	(-15.9%)
	国内	91	91	-1	(-0.8%)	272	267	-5	(-1.9%)
	海外	13	13	+0	(+3.2%)	30	37	+7	(+24.4%)
	計	163	146	-17	(-10.5%)	429	411	-18	(-4.2%)
営業利益	東レ	29	16	-13	(-44.8%)	42	36	-6	(-14.5%)
	国内	1	1	-0	(-8.3%)	7	1	-6	(-80.1%)
	海外	0	▲ 2	-2	(-)	▲ 0	▲ 3	-3	(-)
	修正	▲ 0	▲ 1	-1		0	▲ 3	-3	
	計	30	14	-16	(-52.5%)	49	31	-17	(-35.7%)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)



**3Q**  
(10~12月)

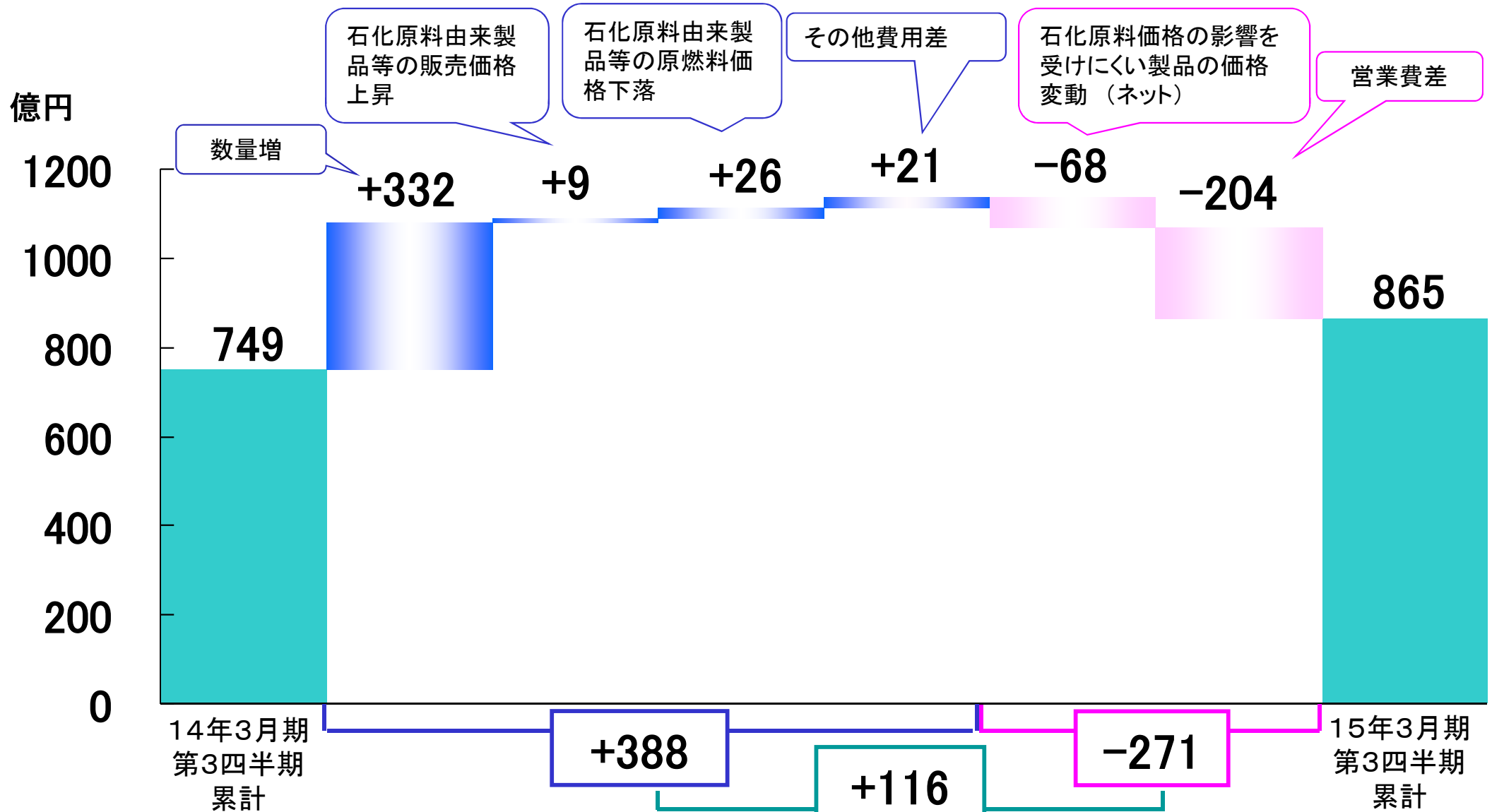
医薬事業は、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ<sup>®</sup>\*の販売が堅調に推移したが、その他の医薬品は競合激化や薬価改定の影響を受けた。また、ライセンス料収入が減少。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が堅調に推移。

**3Q累計**  
(4~12月)

医薬事業は、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ<sup>®</sup>\*の出荷が堅調に推移したが、天然型インターフェロンβ製剤フェロン<sup>®</sup>は競合の激化から出荷が低調に推移し、経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー<sup>®</sup>は、薬価改定と後発医薬品伸長の影響を受けた。また、ライセンス収入が減少。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が堅調に推移。

\* レミッチ<sup>®</sup>は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

# 営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

# 主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)

	売上高			営業利益			億円
	14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	14年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル	4,280	4,440	+160	93	88	-5	
東レエンジニアリング	485	562	+77	▲9	11	+21	
東レ建設	299	363	+63	0	12	+12	
東レフィルム加工	324	355	+32	8	18	+10	
東レ・メディカル	300	288	-12	7	1	-6	
TAK(韓国)	858	903	+45	96	80	-15	
TPM(マレーシア)	522	534	+12	20	20	-0	
在東南アジア・子会社 * 1							
繊維	877	930	+53	37	43	+6	
プラスチック・ケミカル	608	634	+26	27	26	-1	
その他	61	61	-0	3	4	+0	
計	1,547	1,626	+79	67	72	+5	
在中国・子会社 * 2							
繊維	1,415	1,563	+148	133	129	-4	
プラスチック・ケミカル	501	635	+134	12	19	+7	
その他	133	143	+9	1	▲1	-2	
計	2,049	2,341	+292	146	146	+0	
在外・フィルム子会社 * 3							
プラスチック・ケミカル	731	763	+32	39	43	+4	
情報通信材料・機器	478	506	+29	68	67	-0	
計	1,209	1,269	+60	106	110	+4	

\* 1:ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

\* 2:TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC 単純合計

\* 3:TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

## Ⅱ. 2015年3月期連結業績見通し

# 2015年3月期連結業績見通し

億円

		14年3月期 実績	15年3月期 見通し	対前年同期比 増減	前回見通し	前回見通し との差異
売上高	上期	8,538	9,480	+942 (+11.0%)	9,480	—
	下期	9,840	11,020	+1,180 (+12.0%)	11,520	-500
	通期	18,378	20,500	+2,122 (+11.5%)	21,000	-500
営業利益	上期	443	513	+70 (+15.9%)	513	—
	下期	610	787	+177 (+29.1%)	787	—
	通期	1,053	1,300	+247 (+23.5%)	1,300	—
経常利益	上期	465	565	+100 (+21.4%)	565	—
	下期	641	765	+124 (+19.3%)	765	—
	通期	1,106	1,330	+224 (+20.2%)	1,330	—
当期純利益	上期	294	413	+119 (+40.5%)	413	—
	下期	302	387	+85 (+28.1%)	417	-30
	通期	596	800	+204 (+34.2%)	830	-30
1株当たり 当期純利益	上期	18.03円	25.70円			
	下期	18.56円	24.23円			
	通期	36.59円	49.94円			
1株当たり 配当金	上期	5.00円	5.00円			
	下期	5.00円	6.00円			
	通期	10.00円	11.00円			

備考：為替レート的前提は、115円/US\$（1月以降）

# セグメント別業績見通し (売上高／営業利益)

億円

	14年3月期 実績			15年3月期 見通し			対前年同期比 増減			前回見通し との差異	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期	
売上高	繊維	3,351	4,204	7,555	3,862	4,739	8,600	+511	+534	+1,045	-100
	プラスチック・ケミカル	2,280	2,425	4,705	2,462	2,538	5,000	+182	+113	+295	-100
	情報通信材料・機器	1,220	1,238	2,457	1,218	1,282	2,500	-1	+44	+43	-200
	炭素繊維複合材料	521	613	1,133	766	884	1,650	+245	+271	+517	—
	環境・エンジニアリング	831	971	1,802	834	1,166	2,000	+3	+195	+198	-100
	ライフサイエンス	266	316	582	265	335	600	-1	+19	+18	—
	その他	69	74	143	72	78	150	+3	+4	+7	—
	連結	8,538	9,840	18,378	9,480	11,020	20,500	+942	+1,180	+2,122	-500
営業利益	繊維	242	287	529	228	342	570	-14	+55	+41	+20
	プラスチック・ケミカル	90	90	180	117	133	250	+27	+43	+70	—
	情報通信材料・機器	108	138	246	103	137	240	-5	-1	-6	-30
	炭素繊維複合材料	71	98	169	118	162	280	+47	+64	+111	+20
	環境・エンジニアリング	6	58	64	21	74	95	+14	+17	+31	—
	ライフサイエンス	19	37	56	17	38	55	-2	+1	-1	-10
	その他	7	13	20	7	13	20	+0	-0	+0	—
	調整額	▲ 100	▲ 112	▲ 212	▲ 98	▲ 113	▲ 210	+3	-1	+2	—
連結	443	610	1,053	513	787	1,300	+70	+177	+247	—	

# セグメント別営業利益の前回見通しとの差異

セグメント	通期営業利益 前回→今回見通し ( )内差異	要因
繊維	550→570 (+20)	・原料価格下落の影響もあり前回想定より強含みで推移する見通し。
プラスチック・ケミカル	250→250 (±0)	・前回見通し通り。
情報通信材料・機器	270→240 (-30)	・スマートフォン、タブレット端末関連材料が前回想定より弱含む見通し。
炭素繊維複合材料	260→280 (+20)	・前回想定より円安が進行するとともに高付加価値品の拡販を推進。
環境・エンジニアリング	95→95 (±0)	・前回見通し通り。
ライフサイエンス	65→55 (-10)	・医療機器事業が前回想定より弱含む見通し。
その他	20→20 (±0)	・前回見通し通り。
調整額	▲210→▲210 (±0)	
連結	1,300→1,300 (±0)	

億円

---

本資料中の2015年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。